

小佐野重利美術史論文選集【全2巻】

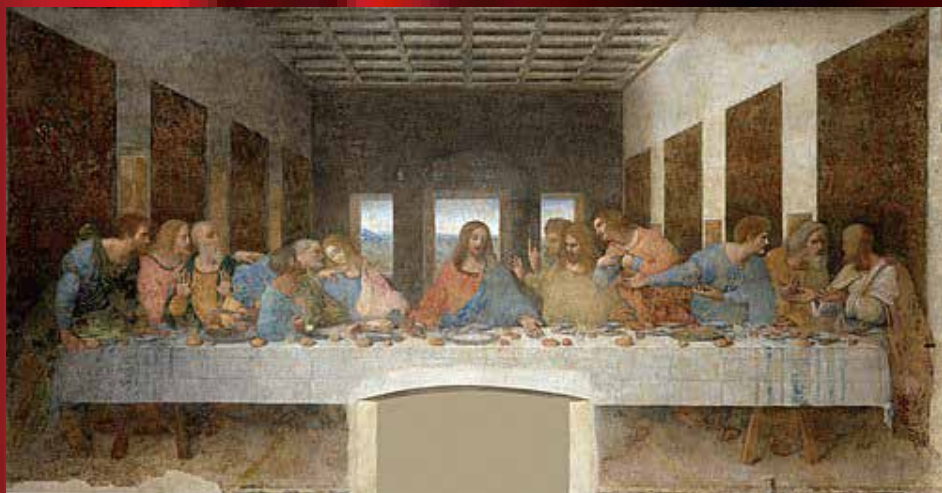
第1巻 痕跡、発見、復元 現地調査篇

A5判上製函入 本文496頁

ISBN 978-4-8035-1158-9

C3071 2026年9月刊行

定価22,000円(本体20,000円+税)



レオナルド・ダ・ヴィンチ《最後の晩餐》



ラファエロ《フランシスコ会の聖人との行列の十字架》



カラヴァッジョ《トカゲに噛まれる少年》

イタリア美術史研究の第一人者・小佐野重利による論集第1巻。
徹底した現地調査に基づき、北イタリア(ロンバルディア、ヴェネト、フェッラーラ)から中部イタリアにいたる絵画・壁画・写本・飾画等の「痕跡」を辿り、作品の「発見」と「復元」を多角的に論じる。
レオナルド・ダ・ヴィンチ、ラファエッロ、カラヴァッジョら巨匠の思考や修業時代をはじめ、工房の営み、新発見の壁画や写本の詳細な解析までを網羅。綿密な作品熟視と史料解説によって美術史研究の最前線を切り拓いてきた、学術的・資料的価値の高い研究成果を収載。

中央公論美術出版

2026 年冬
刊行予定！

小佐野重利美術史論文選集【全2巻】
第2巻 痕跡、発見、復元 研究方法論篇

予価24,200円(本体22,000円+税)

ISBN 978-4-8055-1159-6

総序

第一部 北イタリア ロンバルディア

導入

ヴィスコンティ公爵家およびスフォルツァ公爵家のミラノ美術
― ジョヴァンニ・デ・グラッシからレオナルド・ダ・ヴィンチまで ―

一 中世末期のロンバルディア美術を映す鏡としてのベルガモ素描帖

二 十四世紀末のロンバルディア彩飾写本の珠玉『植物誌』

三 ミラノ郊外で発見されたネーデルラント画家の壁画
― キアラヴァッレ修道院サン・ベルナルド祈禱所の《ピラトの前のキリスト》 ―

第二部 北イタリアヴェネツィア(ヴェネチア)の美術

導入

ヴェネチアの美術― 画家一門バディエーレ家

一 ヴェネチアの画家一門バディエーレ家の系譜概略および伝存する最も古い活動について

二 サンタ・マリア・デッラ・スカラ聖堂のバディエーレ家一門による壁画

三 サンタ・マリア・ノヴェッラ聖堂(ヴェネチア郊外エルベ)のアプスの壁画

四 テイエーネのサン・ヴィンチェンツォ聖堂におけるミケリーノ・ダ・ベゾッツォ

第三部 十五世紀フェッラーラの美術

導入

十五世紀フェッラーラの美術

一 十五世紀の写本彩飾画から初期印刷本の木版画挿絵へ
― 写本『レオネッロ・デステ侯の聖務日課書』零葉と『ヒュブネロトマキア・ポリフィリ』を中心に ―

二 イタリアの十五世紀写本芸術の掉尾を飾る珠玉『ボルソ・デステの聖書』

三 カルロ・ギンズブルグ著『ジャン・フーケ―道化師ゴネッラの肖像』を読む

第四部 イタリア中部

導入

十五世紀後半から十七世紀初めまでの中部イタリアの絵画

一 画家レオナルド・ダ・ヴィンチ―稀代の素描家にして思索家―

二 フィレンツェの大工房の時代―十五世紀後半における美術の都の隆盛―

三 ラファエッロの修業時代―再考―

四 時代の申し子あるいは挑戦者カラヴァッジョ再考―ローマでの活動を中心に―

初出一覧

図版出典

著者略歴

小佐野重利 (おさの・しげとし)

1951年生。東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退、同大学院人文社会系研究科教授、研究科長・文学部長を経て退職。イタリア連帯の星騎士・騎士勲位章(2003年)、イタリア星騎士・コメンダトーレ勲位章(2009年)を受章、国際美術史学会(CIHA)元副会長、東京大学名誉教授、同大新領域創成科学研究科特任研究員、アンブロジーナ・アカデミー(ミラノ)会員、日本学術会議連携会員。著作・展覧会カタログ監修多数。

著書に、『記憶の中の古代―ルネサンス美術にみられる古代の受容』(中央公論美術出版・1992年)、『旅を糧とする芸術家』(三元社・2006年)、『知性の眼―イタリア美術史七講―』(中央公論美術出版・2007年)、『絵画は眼でなく脳で見る 神経科学による実験美術史』(みすず書房・2022年)

中央公論美術出版

お取り扱い

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVY ビル

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

website <https://www.chukobi.co.jp/>